

私のおばあちゃん

リディア・ローズ

私のおばあちゃんと私はおなじたんじょうびで、おばあちゃんはネブラスカに住んでいました。一年に一回、たんじょうびにおばあちゃんは電話をしました。それから、中学生の時、おばあちゃんはネブラスカからミネソタにうつり、私の家族といっしょに住んでいました。初めはおばあちゃんといっしょに住んでいるのが好きでしたが、むずかしくなりました。

おばあちゃんはたくさんのたすけがいました。私のりょうしんはおばあちゃんをたくさんたすけてあげました。私はよくいそがしいりょうしんをたすけました。私の町の病院は家からとおいですが、よく母はおばあちゃんを病院に連れて行きました。家でおばあちゃんはいだんをととてもゆっくりのぼりましたが、こきゅうするのがたいへんでした。おばあちゃんが家族といっしょに住んでから一年、新年のよくじつに父は部屋のドアをのつくしました。父はおばあちゃんが夜死んだと言いました。私のりょうしんは学校を休んだほうがいいと思いました。

おばあちゃんが生きていた時、おばあちゃんといっしょにいるのは足りませんでした。今、私はおばあちゃんに会いたいです。私とおばあちゃんがいっしょにいた時間はみじかかったです。

でも、おばあちゃんは私に多くの事を教えてくれました。私にがまんすることや親切やしあわせの意味をおしえてくれました。いっしょにいる時間をもっとあったら、私はおばあちゃんにたくさんのことが聞きたいです。

私がしたい生活はおばあちゃんみたいな生活です。おばあちゃんが病気になった時、彼女はぜんぜんもんくを言いませんでした。おばあちゃんはいつもやさしい人でした。おばあちゃんは会った人みんなが好きで、みんなもおばあちゃんが好きでした。

みなさん、おばあちゃんとおじいちゃんを大切にして、いっしょにいろいろなことをしてください。

でも、おばあちゃんとおじいちゃんが生きていたら、時間を作って聞いてください。私たちに多くの事をおしえて、えいえんにここにいません。

ごせいちょうありがとうございます。